

# 札幌市産業振興ビジョン（案） 修正の方向性



区分

主な意見

修正の方向性

新バージョンへの反映

札幌らしさの記載

【札幌ならではの産業の位置付け】  
札幌らしさを強く打ち出すべきであり、札幌ならではの産業について、具体性のあるものにすべきである。  
「食」、「観光」などの「重点分野」と、「スポーツ」、「文化」などの「札幌らしさ」を同列で議論しているが、「スポーツ」、「文化」自身が主役となるのか、他の産業と連動して効果を示すのか、位置付けがよく分からない。

【札幌ならではの産業の位置付け】  
「施策展開に向けた視点」として、「創造性を活かした産業の活性化」を挙げており、「創造性」という統一した観点から「札幌ならではの産業」を横断的戦略として構築する。具体的には、「積雪寒冷地技術」、「ウィンタースポーツ」、「映像コンテンツ」、「音楽など文化芸術」を、横断的戦略「創造性を活かした札幌らしい魅力の発揮」の中に位置づけ、「基本施策」として明確化する。

【札幌ならではの産業の位置付け】  
（「資料4」p.9～p.10:「(4)創造性を活かした産業の活性化」）  
「今後は、産業面においても積極的に創造性の考え方を取り入れることで、市民・企業の豊かな創造性と産業振興を連動させ、札幌ならではの新しい産業を創出させる必要がある。」  
  
（「資料4」p.38～p.41:「4.創造性を活かした札幌らしい魅力の発揮」）  
「札幌独自の地域特性や都市の魅力と、市民、企業の独創的なアイデアが融合して、札幌の高いブランドイメージが築かれ、新たな創造的な産業が創出される可能性がある。」  
【基本施策1】積雪寒冷地技術の活用、【基本施策2】ウィンタースポーツによる産業の振興、【基本施策3】プロスポーツを軸にした活性化、【基本施策4】映像やデザインなどコンテンツ、【基本施策5】音楽など文化芸術の発信、【基本施策6】創造性を活かした文化産業の創出

文化芸術関連

【音楽関連分野の振興について】  
音楽、演劇などについて、プレイヤーが集まる街にすることで、文化芸術と産業が結びつく。  
  
【創造性のある文化産業の創出】  
従前は、心の豊かさなど精神面での価値を求めていたが、これからは、どのような産業にするのが課題であり、観光と結びつけるのは規定路線ではない。

【音楽関連分野の振興について】  
第2部『各論』「札幌らしい魅力の発揮」の中で、市内外の演奏家等が札幌に集うことの必要性を述べる。  
  
【創造性のある文化産業の創出】  
第2部『各論』「札幌らしい魅力の発揮」の中で、創造性を活かして、新たな産業を生み出すまちづくりを目指すことを明確にする。

【音楽関連分野の振興について】  
（「資料」p.41:「基本施策5:音楽分野を中心とした文化芸術の発信による地域経済の活性化」）  
「優位性のある音楽分野について、市民や観光客はもちろん、演奏家や音楽団体など、音楽に携わる多くの人材が集い、にぎわいが生み出されるまちづくりを進める。」  
  
【創造性のある文化産業の創出】  
（「資料4」p.41:「基本施策6:市民や企業などと連動した創造性のある新たな文化産業の創出」）  
「アーティストやクリエイター、デザイナーなど創造的産業に従事する市民や企業などが次々に生まれ、札幌市に定着し、そして、国内外に魅力を発信し、新たな産業を生み出すという、常に独創的な産業が集積・創出するまちづくりを目指す。」

北海道の中の札幌の役割

【北海道の中の札幌の役割の明確化】  
北海道経済全体の発展のため、札幌市の持つ都市機能を、道内の他市町村に十分活用してもらうという視点が必要。

【北海道の中の札幌の役割の明確化】  
第1部『総論』に記載した「施策展開に向けた視点」において、「北海道経済の中心都市としての機能・役割の発揮」と「オール北海道体制での産業振興」を掲げ、北海道経済の中心としての札幌市の役割を明記する。

【北海道の中の札幌の役割の明確化】  
（「資料4」p.8～p.9:「施策展開に向けた視点」）  
(1)北海道経済の中心都市としての機能・役割の発揮  
「札幌が有する都市機能を、北海道の他市町村にも十分に活用してもらうことが、札幌市経済はもとより、北海道経済全体の活性化につながる。札幌市は、道内市町村との連携を図りながら、北海道経済全体を下支えするという役割を担い、様々な産業振興策を展開していく必要がある。」  
  
(2)国・道・経済団体等と連携したオール北海道体制での産業振興  
「北海道経済全体の発展を見据えて札幌市経済の活性化を目指すためには、札幌市だけでなく、国、北海道、道内市町村など公的機関、地元の企業・事業者で構成される経済団体、金融機関、大学等の教育研究機関との連携を積極的に進め、オール北海道体制での産業振興に取り組む必要がある。」

